

川田鷺橋 ろけは 俳人。上佐國生れ、大正十年一月歿（一九二一）。蒲葺
痛吉。初の漢籍を學び漢詩を能くした。長じて戸長を擧げられ自由黨
に加盟。神道と修の訓導に任じた。平生和歌を作ると、晩年は専ら俳
諧に耽り、義仲寺京近瀬川露城撰抜の五百餘句を紀行文と共に『吾流
舎遺稿』(昭和十年七月二十日川田瑞穂編輯)に殘した。雪山川田瑞
穂の父。

